



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1～23週
	第22週	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	第22週	第23週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	2442 0.49	33 0.72	18 0.39	▼	1 0.10		▼	9 0.90	6 0.60	▼				23 2.56	12 1.33	▼				12738
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	766 0.24	13 0.43	17 0.57	△	2 0.33	7 1.17	▲	3 0.43	2 0.29	▼	3 1.00		▼	4 0.67	5 0.83	△	1 0.13	3 0.38	△	206
咽頭結膜熱	1993 0.63	18 0.60	21 0.70	▲	3 0.50	3 0.50		6 0.86	8 1.14	△		1 0.33	△	7 1.17	9 1.50	△	2 0.25		▼	270
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9008 2.84	150 5.00	159 5.30	▲	39 6.50	49 ◎8.17	▲	30 4.29	39 5.57	▲	15 5.00	11 3.67	▼	49 ◎8.17	44 ◎7.33	▼	17 2.13	16 2.00	▼	2743
感染性胃腸炎	20734 6.53	218 7.27	209 6.97	▼	80 13.33	76 12.67	▼	31 4.43	35 5.00	△	27 9.00	33 11.00	△	56 9.33	37 6.17	▼	24 3.00	28 3.50	△	5039
水痘	1137 0.36	16 0.53	8 0.27	▼	1 0.17		▼	6 0.86	4 0.57	▼		1 0.33	△	8 ◎1.33	1 0.17	▼	1 0.13	2 0.25	△	266
手足口病	6201 1.95	24 0.80	26 0.87	▲	18 3.00	24 4.00	▲	5 0.71	2 0.29	▼							1 0.13		▼	189
伝染性紅斑	2226 0.70	37 1.23	25 0.83	▼	19 ◎3.17	12 ◎2.00	▼	7 1.00	7 1.00		3 ◎1.00	5 ◎1.67	△	4 0.67		▼	4 0.50	1 0.13	▼	1021
突発性発しん	1744 0.55	25 0.83	19 0.63	▼		3 0.50	△	5 0.71	4 0.57	▼	4 1.33		▼	8 1.33	4 0.67	▼	8 1.00	8 1.00		363
ヘルパンギーナ	1168 0.37		1 0.03	△					1 0.14	△										14
流行性耳下腺炎	429 0.14	2 0.07	1 0.03	▼					1 0.14	△	1 0.33		▼				1 0.13		▼	29
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																			
流行性角結膜炎	422 0.60		2 0.25	△					1 0.33	△								1 0.50	△	65
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	217 0.45	2 0.20	8 0.80	△	2 1.00	3 1.50	▲							5 2.50	△					65
クラミジア肺炎	2 0.00																			
マイコプラズマ肺炎	71 0.15																			38
細菌性髄膜炎	9 0.02																			3
無菌性髄膜炎	20 0.04	2 0.20		▼													2 0.67		▼	6

※表中の数値 上段: 報告数 下段: 定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲: 2週連続増加、△: 今週増加、▼: 2週連続減少、▽: 今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
結核	3(山形市2、置賜1)	
細菌性赤痢	1(山形市1)	
レジオネラ症	1(置賜1)	
梅毒	1(村山1)	
百日咳	3(村山2、最上1)	ワクチン接種歴: 4回 2人、不明 1人。

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型0件、B型18件です。
集団発生の報告は、ありませんでした。

※トピックスで、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ			2			1		1	5	2	1	6			18
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	3	5	3	2	1									17
咽頭結膜熱	1	4	8	3	1		4								21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	6	12	27	23	21	22	15	8	16		2	159
感染性胃腸炎	7	30	36	22	17	22	18	10	14	4	7	15	1	6	209
水痘			1	1	4		1			1					8
手足口病		2	3	6	5	3	2	2		1	2				26
伝染性紅斑			3	1	4	3	4	5		3	1		1		25
突発性発しん		4	14	1											19
ヘルパンギーナ			1												1
流行性耳下腺炎					1										1

< 平成31年4月 月報 >

2019年5月15日 発行

疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
STD定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	16	10	3	6	1		1	1	3	9	2		53
	定点当り	1.60	1.00	1.00	1.50	1.00		1.00	0.50	1.50	3.00	0.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	9		3		4	3	1	5		1		36
	定点当り	0.80	0.90		0.75		4.00	3.00	0.50	2.50		0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	1	1		1	1								6
	定点当り	0.10	0.10		0.25	1.00								
淋菌感染症	報告数	6	2	1		1				3		3		14
	定点当り	0.60	0.20	0.33		1.00				1.50		1.00		
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	4					1			4	3		20
	定点当り	0.40	0.40					1.00			1.33	1.00		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	17	2	6	4		2			11	9		78
	定点当り	1.70	1.70	1.00	1.50	2.00		2.00			3.67	3.00		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													
	定点当り													

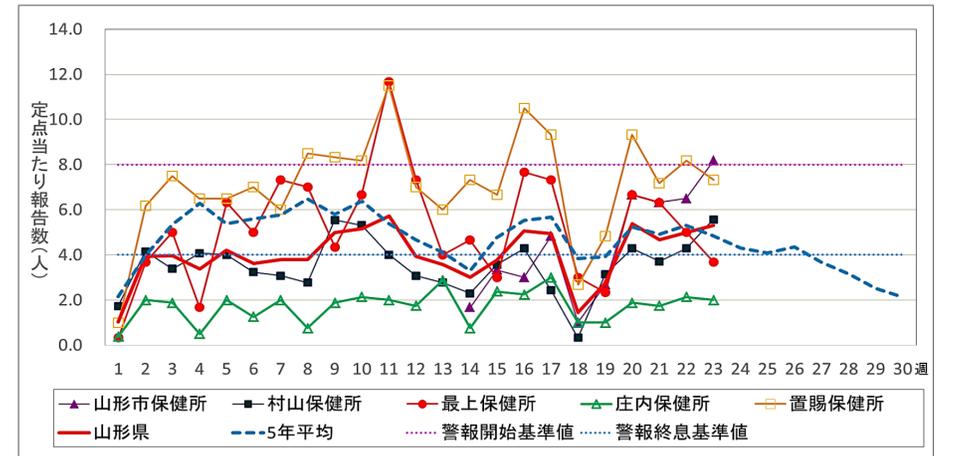
< トピックス >

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が、山形市保健所管内、置賜保健所管内で警報レベルとなっています。

・第23週 定点当たり報告数(山形県:5.30人)
 山形市保健所:8.17人、村山保健所:5.57人、最上保健所:3.67人
 置賜保健所:7.33人、庄内保健所:2.00人
 ※警報開始基準値:8 警報終息基準値:4

・定点当たり報告数の推移(山形県)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症で、山形県では主に冬から初夏にかけて流行します。

《症状》

2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)と、喉の赤みで発症します。喉の腫れ、上あごの点状出血や、舌に赤いプツプツが現れる莓舌(写真1)などの症状がみられることもあります。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。



写真1. 典型的な莓舌 (国立感染症研究所HPより)

《感染経路と予防法》

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れることにより感染するため、予防には、手洗いや咳エチケット等の一般的な予防法が大切です。